

「第3回SL保存ボランティア」開催

3月25日、今年初めての運転は大井川鉄道との「第3回SL保存ボランティア」に合わせて行なわれました。今回の運転は客車に暖房を入れてもらうほど寒く、千頭では雪も降りました。翌日の26日は百楽園（大井川娯楽センター）内で総会を行ない、その後、旅芝居一座の観劇とパンフレット改訂のための沿線取材を行ないました。



お父さんにヘルメットをつけてもらって準備OK



作業内容の説明を受ける参加者

子供達にプレートの磨き方を教える



みんなでSLをピカピカに



3月25日の運転状況

ボランティア参加者	10名
(初参加)	0名
乗客数	下り 38名
	上り 17名
売上	2,000円
募金	2,300円



運転台にも乗せてもらいました

毎年恒例になった「SL保存ボランティア」が子供達の春休みである3月25日に行なわれました。今年は十分な宣伝ができなかったため3組7名(うち子供3名)の参加となりました。いつもはたくさんの参加があり十分にSLや客車に触れてもらうことができないでしたが、今回は鉄道サークルのメンバーの方が多くいたので、十分にボランティアを体験していただけたのではないかと思います。

参加した人達は、まず全体の作業内容や注意事項、保存の意義などの説明を受けました。その後、SLの方に移動し、磨き方を教えてもらいながら、約40分プレートなどをピカピカにしました。磨き始めると服が汚れるのも気にならなほど夢中になっているようでした。「楽しかった」といった感想を言ってもらえて我々も良かったなあと思いました。運転席に上がって見学をしたあと、磨き終えたSLの前で記念撮影を行ないました。

次に、客車に移動して、作業内容を説明を受けた後、作業にかかりました。作業手順としては、「カーテンと窓を開ける 座席モケットの埃を手ぼうきではらう ぼうきで床を掃く 濡れた雑巾で座席まわりを拭く サボを入れる」といったことを約40分かけて1両分行ないました。

今回の作業では、安全には特に気をつけて、事故もなくボランティア作業を終えることができました。しかし、参加者が多くなった場合、心配な面があります。参加者は初めての作業であり我々が安全を確保する立場となります。従って、我々も何が危険かを日頃から認識しておくことが大切だと感じました。SLではやけどしそうな場所を把握できていなかったり、客車の作業では留置線のため指示なく客車からは出ないようにしても降りてしまう場面があったことは、反省しなければならぬと思っています。

参加者は、作業を終え、自分達がかれいにした客車の中で昼食をとりました。そして、いよいよラストレインの出発。千頭までの汽車旅は、車窓から、桃の花やこいのぼりをみることができました。汽車を降りて行く様子を見ると、参加者にとって、楽しい一日になったのではないかと思います。



SLの前で記念撮影



客車へ移動



作業内容を説明する谷口氏



まずはカーテンを開けて



窓も磨きました



作業が終わったら手も真っ黒

今回の運転前の作業では、車内の中吊り広告と掲示を、C12やスハフ43・オハニ36の現役時代の写真に変えました。なかなか良い雰囲気です。貼れなかった写真は順次入れ替えを行なっていきたいと思います。



新しく替えた中吊り広告



掲示も一新しました



大井川に泳ぐこいのぼり



恒例のお茶屋での抹茶ソフト

募金活動ではNHKの取材の際に頂いたポラロイドカメラを活用しました。1000円以上寄付して頂いた方を連れの方と共にポラロイドカメラで撮影。なかなかの好評でした。問題は、広角度がなく、乗客が多い場合は、撮影が困難になります。次回からは、千頭駅到着後、SLや客車の前で撮影をするようにしていくことを検討しています。

また、千頭ではヘッドマークの「復活」のシールを取り元に戻しました。



ヘッドマークの復活の文字が消える



運転終了後、夕食



総会前夜祭？

1999年度鉄道サークル総会報告

3月26日 10:00から百楽園・大井川娯楽センター(金谷)で総会が行なわれました。

総会参加者は財団から松本さん、鉄道サークル会員としては10名出席しました。1999年度の活動報告と2000年度の活動方針を中心に話し合われました。

1 財団からの活動報告

トラストレインの運転では、これまで添乗業務ドア扱いと車内販売を兼務していましたが、5月の運転より添乗業務と車内販売を別に分けました。添乗業務は乗客の安全確保を行なう責任のある業務になります。添乗業務の人員はこれまで通り3名とし、チケット代は無料になります。車内販売は、ボランティアという位置付けで、有料となります。添乗業務の3名には明確化するため腕章をつけるなどを財団の方で検討していただくこととしました。

C12とオハニの募金は240口中、約160口集まりました。そこで募金者に小煙管を差し上げるイベントを5月くらいにトラストレインのある現地(大井川鉄道)で開催したいと考えています。現地に来れない方には、送料は募金者に負担していただいて発送することになります。

35000は、屋根の補修後、家山駅構内に置いていただけの方向で検討を進めることとなりました。引込み線の脇に新たに線路を引いて置くことを大井川鉄道側と計画を進めておきます。

2 会費

2000年度は2000円とします。

会費は、会報制作費用、発送

費、ホームページ代、その他事務経費等とし、活動費は参加者から別途徴収を行ないます。従って、これまでは関西地区への活動費を出していましたが、2000年度からは出さないこととなります。

3 会報

1999年度は、会報5回発行、はがきインフォメーションが5回でした。2000年度は年6回(偶数月)の発行を目標とします。

4 活動計画

見学会

横川:日程は6月3日(若しくは、10日)を予定しています。

勉強会

トラストレイン補修勉強会

客車の外板・内装の塗装、客車内床材の補修、シートモケットの部分継ぎの技術を大鉄技術サービスの方にレクチャーしていただきながら行なうことを計画しています。

35000の補修

屋根の補修を業者に依頼する。費用見積もりはおよそ17万円になります。費用は35000基金から出します。35000の募金活動は引き続き行ないますのでよろしくお願ひします。目標額は25万円(現在16万円)です。

トラストレイン

・車内配布用パンフレット

シンプルに作り直します。表面は現行を使用し、裏面は沿線案内とします。沿線の取材・撮影を総会の後行ないました。4月運転日に間に合わせられるよう作成を進めています。

・車内掲示物

各客車の往時の活動場面を写

真にて紹介する。吊り広告も各客車の往時を忍ばせる写真に変更する。3月25日の運転日の際に貼り替えをしました。往時の写真を提供していただける方がいらっしやいましたら、募集していますので財団まで送ってください。

・車内販売

テレホンカードは、去年の桜のテレホンカードの残りが102枚あります。今年テレホンカードは、当初「夏」をテーマにするつもりでしたが、お客さんは形式写真の方を好む傾向があったことから、形式写真とします。作成は200枚を予定しています。また、作成コストを下げるについても検討することになりました。テレホンカード以外の車内販売用グッズも募集します。アイデアがあればご連絡下さい。条件としては、安く、手間がかからず、管理が容易なものです。

・募金推進グッズ

募金が飛躍的に伸びているのは、1000円以上募金していただいた方にプレゼントしているグッズによるところが大きいようです。これまでに、うちわ・SLプレート拓本は大ヒットで、今年も続けて作成していきたいと考えていますので、作成の際には御協力をお願いいたします。また、今回の運転日にはポラロイド記念撮影も実施したところ好評でした。車内が混雑すると撮影がしにくいので今後は撮影の仕方を検討していきます。その他、乗車記念カード、カレンダー付き絵葉書などを作成する計画です。その他、アイデアがあればご連絡下さい。

5 各地区の鉄道サークル
 関西地区
 独立活動を基本とします。活動費は別途徴収をお願いします。インフォメーションは必要があれば、財団の報、鉄道サークル会報、関西支部ボランティア通信への掲載を行なっていく。
 中京・東海地区
 独自の活動は休止とします。
 6 鉄道サークル総会について
 人事的な部分は昨年そのままとします。

総会の位置付けは、親睦を第一義とします。検討事項については、前もって幹事会で決めておき、総会で承認を得る程度とします。その他、必要に応じてテーマを決めて討議をしていきたいと考えております。また、見学会や講演会を開催していきたいと思っております。今年は百楽園の旅芝居一座の鑑賞をし、大衆芸能に触れました。
 7 会計報告
 会計担当：渡辺、橘

会計監査：多田
 期間：
 1998年10月～2000年3月10日
 支出 270,071円
 収入(会費2,000円×110名) 220,000円
 収支 - 50,071円
 繰越金 166,752円
 ㊦5000基金
 (基金12万円+募金16万円) 280,000円
 テレカ売上 135,900円

1999年度鉄道サークル会計報告

収入の部		支出の部	
前年度からの繰り越し	216,823	補修関係5回	26,063
		掲示物(車内中吊り)	10,232
		募金促進グッズ	2,714
1999年度会費	220,000	記念スタンプ、文具	23,771
(2000円×110名)		会報・サークル記録	14,623
		会報 制作費	29,488
		会報 発送費	97,200
		(90円×180名×6回)	
		インフォ用八ガキ	41,886
		関西サークル活動費	20,000
		事務経費	2,047
		次年度繰り越し金	168,799
合計	436,823	合計	436,823

現在の資産			
現金	111,020	資産には㊦5000基金	280,000
郵便口座	448,880	テレカ運用資金	135,900
郵便切手	22,752	合計	415,900
合計	582,652		を含む

㊦5000基金、テレカ運用資金については別会計します

今回の会計期間 1998年11月～2000年2月 1年4ヶ月
 今後の会計年度 自 4月～至 翌3月

いんぷおめいしょん

今年度鉄道サークルの会費を下記の通り徴収します。

会 費 2,000円

納入方法 1.郵便振替(同封の振替用紙)

00140-7-408646 加入者名 日本ナショナルトラスト鉄道サークル

2.財団事務所へ持参

締 切 7月15日

(7月15日をもって入金が無い場合は鉄道サークルの名簿から自動的に削除させていただきます)

ご注意 振替用紙が同封されていない方は、納める必要がありません。

入金の方法は1 2 の二通りのみです。財団への送金はおやめ下さい。

碓氷峠鉄道文化むら見学会のお知らせ

開催日 6月10日(土)

現地に11時集合。施設見学後、高崎市内にて懇親会。解散。

詳細は未定。(後日、はがき、ホームページでお知らせします。)

申し込み 財団事務所宛はがき、又はFax 03-3214-2633

鉄道サークルホームページの落書き帳

鉄道サークル事務担当渡辺一男宛電子メール

nabemoku@nn.ij4u.or.jp

〆切 6月8日(木)

新しい車内パンフレット

ガイドドリコ株式会社のご厚意により、フルカラーで制作されることになりました。

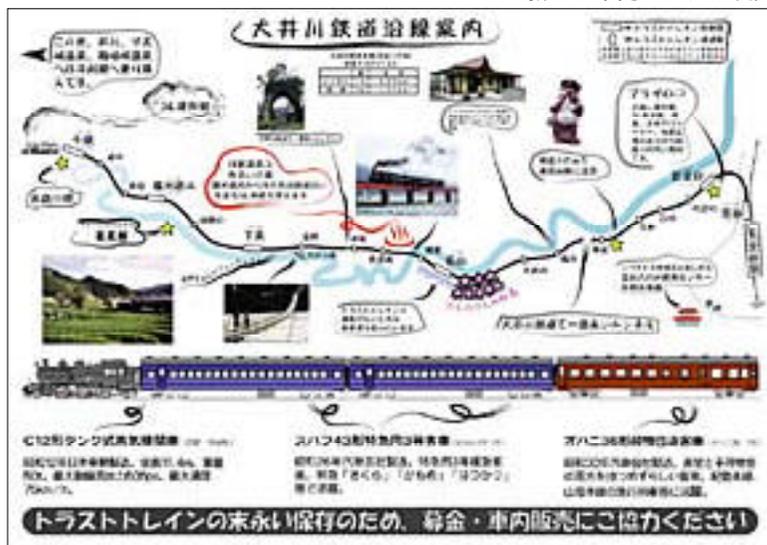
5月の運転日よりトラストレインの乗客に配布されます。

新しい車内パンフの裏面

テレホンカードの 写真募集

乗客の人たちには沿線風景を含めた絵柄も、トラストレインそのものをクローズアップした絵柄の方が好評のため、季節感のあるものではなく、お決まり形式写真(斜め正面から列車だけを大きく捉えた構図)を募集します。

写真は、印刷の都合上ネガよりもポジの方を希望します。



C12 164が「かわね路号」の牽引で追加運行(グレーの日は通常のトラストレイン運転日です)

4月16日(日) 4月22日(土) 5月13日(土) 5月27日(土) 6月24日(土) 7月1日(土)

7月15日(土) 8月12日(土) 8月26日(土) 9月16日(土) 9月30日(土) 10月7日(土)

10月21日(土) 11月11日(土) 11月25日(土) 12月8・9日(金・土)

1月12・13日(金・土) 2月16・17日(金・土) 3月23・24日(金・土)

3月24日はSL保存ボランティアを実施する為、トラストレインとなります。

「かわね路号」運転時間 下り 金谷11:50発 千頭13:07着 上り 千頭14:50 金谷駅16:09着

日本ナショナルトラスト鉄道サークル 会報 とらすととれいん 第101号 2000年4月号

〒100-0005 千代田区丸の内3丁目4番1号 新国際ビルディング810区 Phone 03-3214-2631 Fax 03-3214-2633